



日本共産党

くらしに安心 未来に希望 わたなべ真千のお約束

みなさんとご一緒に実現します

コロナ危機からくらしを守る

- 学校、就学前施設、福祉施設で働く人への優先的なワクチン接種と定期的なPCR検査の社会的検査の実施
- 生活困難者への市独自支援策
- 小規模事業者への市独自給付制度



くらし・高齢者支援

- 国民健康保険料・介護保険料の軽減
- 中学校校区ごとに地域包括支援センターの設置
- 公共施設循環バスの路線拡充と運賃補助でお出かけ支援
- 公共施設の利用料の軽減

子育て支援・教育充実

- 少人数学級の推進
- 学校給食費の無償化
- 子どもの医療費窓口負担ゼロ
- 保育園の待機児童解消

安心・安全のまちづくり

- 地域の拠点となる公共施設の存続
- 避難所となる学校体育館にエアコン設置
- 市民が憩える公園の整備

これからも
粘り強く実現めざします

- ★ 西浦交差点・道の駅周辺の渋滞解消
- ★ はびきやま交差点の渋滞解消
- ★ ボール遊びができる公園の整備



西浦交差点の渋滞解消を

変えましょう
くらしを
一緒に



日本共産党 羽曳野市会議員

わたなべ

お気軽にご相談下さい

わたなべ真千
連絡先 ▶ 090-9992-6899

真千
まち



羽曳野民報

No.2166 2021年7月15日 発行:日本共産党羽曳野市委員会
連絡先:向野3-8-1 TEL 952-6975 FAX 952-6976

日本共産党羽曳野市委員会は上記の見解を発表しましたのでお知らせします。

わたなべ真千 ショート Story



[プロフィール] 1957年神戸生まれ、1979年大阪府立社会事業短期大学保育科卒業、羽曳野市で保育士として勤務。子育て支援センター、福祉支援課など経て37年間勤務。2017年9月市議会議員に初当選。羽曳が丘在住。家族は、夫、子ども3人、義母[趣味]三味線、和太鼓、篠笛など和楽器演奏、オペラ、歌舞伎、文楽などを鑑賞

和太鼓や三味線など趣向味も多彩

いい保育がしたい
働く人を守りたいと労働組合活動にも

仕事を終えてから保育の学習会だけでなく、和太鼓やお芝居などの文化にふれて心豊かに生活をすることの大切さを感じてきました。それは、研修時間の保障や、身体や心をリフレッシュできる有給休暇をとれたから。労働条件の向上でこそ、いい仕事ができると実感し、働く人たちを守る労働組合活動に頑張ってきました。



日本共産党への出会い



どの子も豊かに育つように
社会のありかたを変えたい

保育士を続ける中で働くママ・パパや家族関係の悩み、仕事や経済的な不安などの相談に携わることが多くなり、社会の矛盾が子育ての悩みにつながっている事を体感。どの子もすくすく育つには社会のあり方をみんなで変えていきたいと、日本共産入党入りました。

地域のみなさんの経験が宝

支え合えるまちづくりをみなさんと一緒にがんばります

37年間の仕事の中で、地域のボランティアのみなさんと一緒に子育てサロンの事業に携わることができたのは、私にとっては今も「宝」です。地域の子どもたちを見守ることで元気をもらえるというボランティアの皆さん、ワンオペ育児で追い詰められている時に声をかけてもらえたと笑顔になるママ。互いに支え合える心地よい関係と、暮らしをさせていくまちをめざしてこれからも頑張ります。



行動力いかして! ＼住みよいまちづくりに全力／

道路や歩道・路肩の補修や公園の整備など、皆さんの声で少しづつ改善されてきました。

今後もまちが変化していく中で、改善が必要な箇所がでてきます。誰もが安心して暮らせるまちにするため、皆さんの声を大切にして今後も頑張ります。

日本共産党

皆さんの 声を「力」に一緒に改善してきました!

通学路を安全に



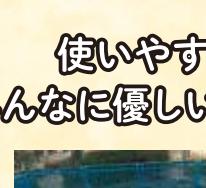
羽曳が丘西の通学路の
4か所に溝蓋設置



羽曳が丘小学校登校時
進入禁止を明確に表示



10丁目公園内通路の
へこみを解消



10丁目公園の砂場の
コンクリートを撤去



住宅に隣接するはびきの
3丁目公園の整備



自転車も歩行者も 便利で安全に



10丁目バス停近くの
柵を切って便利に



モモプラザ前の
バスのわだちを修繕



はびきの4丁目に
カーブミラー



北公園の交差点の危険
解消のために電柱を移設



羽曳が丘9丁目に
信号がつきました

あなたの声で願い実現へ

日本共産党
—わたなべ真千一—

『どんな時もあなたのライフステージに寄り添い要望し実現』

赤ちゃん

- 公立幼稚園4園で3歳児保育実施
- 認可園の入所枠の拡充で待機児対策



働く子育て世代

- 就学前の子どもにかかる国民健康保険料の半額化
- 子ども医療費助成 18歳まで拡充



小中学生

- 学校施設の改善（普通教室へのエアコン設置、トイレの洋式化、耐震化、ブロック塀撤去、ひび割れ改善）
- 選択制から全員の中学校給食へ方針転換
- 軽度難聴児への補聴器補助



高齢者

- 地域包括支援センター（介護・医療などの総合相談窓口）設置拡充
- 循環バスの停留所の増設
- 市民健診の無料化



学童保育室改善

足を運んで
調査し改善へ



お茶も冷やせない狭い流し台を改善

バス会社との懇談



定期的に懇談し路線の拡充や
乗り換え運賃の軽減を求めました

給食センター視察



老朽化した給食センターの
問題点を視察

富田林土木事務所に 改善要望



府が管理する道路や河川の
改善を要望

市政報告会 & 懇談会



議会の様子を伝え、要望や
意見をお聞きする報告会を開催



真千さんがんばれ！

新日本婦人の会 羽曳野支部
池田美恵子

市民の要望である「安心安全の中学校全員給食の実施を早期に」という請願を日本共産党議員さんの紹介で6月議会に提出しました。

傍聴に参加すると、全国や近隣市の全員給食の実施率などのデータを示し、羽曳野市の遅れがハッキリわかるように代弁してくれたのは日本共産党の議員さんだけでした。長い間取り組んできたことが採択され、みんなで喜びあい、共産党の議員さんを頼もしく思いました。

給食だけでなく、毎日の困りごとや願いをすくいあげ、粘り強く要望していく日本共産党の議員さんたちには元気をもらっています。

真千さんはいつも丁寧に地域をまわりエネルギーでパワー全開！みんなの声を大切に届けくれる大切な存在です。

日本共産党 次の総選挙で政権交代実現！

医療・福祉・暮らし 最優先の政治を

新型コロナ危機をつうじて、多くのみなさんが、これまでのあり方を見つめ、誰もが健康で安心してくらせる政治への転換を求めています。

7月4日の東京都議選で日本共産党は、東京五輪を中止して新型コロナ対策に集中し「命を大切にする政治を」と訴えました。また、総選挙での政権交代の流れをつくろうと、市民と野党の共闘を成功させ日本共産党の議席も野党の議席も前進させることができました。

日本共産党は、次の総選挙で菅自公政権、維新政治に厳しい審判を下し、医療・福祉・暮らし最優先の政権実現に力を尽くします。ご一緒に希望ある政治を実現しましょう。

日本共産党だからこそがんばれます！

「#困ったときは共産党に相談しよう」—SNSでこんな投稿が広がりました。

日本共産党は、全国で2700人の地方議員、地域・職場・学園で活動する党支部・党員が、困っていることに親身になって相談にのり、解決のために努力しています。

国会では、国民の世論と運動、他の野党との共闘の力で、1人一律10万円支給、雇用調整助成金の上限額引き上げ、家賃支援の仕組み、PCR検査の拡充、医療機関への財政支援など、一連の対策が実現しています。

「国民の苦難あるところ日本共産党あり」—1922年の党創立以来、震災や豪雨・台風災害など、数々の災害で発揮してきた私たちの立党の精神が、新型コロナ危機のもとでも発揮されています。

知って
ください。

「日本共産党」ってこんな党



国民の苦難軽減が信条
暮らしと命を守りがんばる党

コロナ禍でアンケートや生活支援に奮闘。大規模検査を提唱し、PCR検査の拡大、持続化給付金などを実現してきました。

資本主義を乗り越えた
未来への確かな展望をもった党

ジェンダー平等、貧富の格差、気候変動問題も綱領に明記。資本主義の限界を乗り越えた新しい社会への展望を持つ政党です。

憲法9条を守り、どんな国の
霸権主義も許さない党

アメリカでも中国でも、強権で他国を支配する動きは許しません。中国人権弾圧も厳しく批判しています。

菅政権とも維新政治とも対決
草の根から政治を動かす党

入管法改正案の採決阻止、大阪市廃止の是非を問う住民投票を再び否決するなど、みんなの声を集めて政治を動かしています。

コロナ 封じ込め対策の強化を！

「感染の波はやむをえない」と言い訳する菅政権。「いつでも、無料で、どこでも」検査を受けられる「世田谷モデル」は「必要ない」と検査拡大を否定する吉村知事。失われる命への痛みはないのでしょうか。世界128位と立ち遅れたワクチン接種を急ぐことは当然ですが、それだけで感染封じ込めはできません。日本共産党は、コロナ危機から暮らしを守る対策を提起しています。

国に
対して

ワクチン接種と検査拡充は同時並行で

- 医師・看護師を確保し安全迅速なワクチン接種
- 医療従事者と高齢者・障害者施設の職員・利用者への定期的な検査



十分な補償で営業・暮らしをシッカリ支援

- 持続化給付金・家賃支援給付金の再支給
- 対象者・期間を制限しない休業支援金

生活困窮者・ひとり親家庭・学生への支援強化

生活困難者への「定額給付金」の支給。学生の学費半額。
ためらわずに申請できる生活保護制度

日本共産党 独自対策を繰り返し要望



市長、教育長にPCR検査の拡充などを申し入れる(4月20日)

日本共産党議員団が、3月議会で山入端市長に「PCRの社会的検査を」求めたところ「無症状で感染者と接触歴がない方などに対して一律に検査を行うことは、必ずしも適切な方法とは考えていません」とPCR検査を軽視する答弁でした。

日本共産党羽曳野市議員団と力を合わせて、自公政権、維新を退場させ、国民の暮らし応援の新しい政治実現にがんばります。

